

平成29年度

第15回 全国児童発達支援施設運営協議会(北海道大会)開催要項

- 1 テーマ **地域における障害児支援の役割を考える**
～ すべての子どもと家族が安心して暮らせる社会のために ～
- 2 趣 旨 児童発達支援ガイドラインが定められたことにより、一定の質の担保や全国共通の枠組みが示された。あらためて地域社会における児童発達支援の役割・方向性・関係機関との連携を確認し、また、障害児入所施設においては3年後に向け、子どもにとって最善の利益を守る施設のあり方と役割をさぐる協議会を実施する。
- 3 主 催 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会児童発達支援部会
- 4 共 催 一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会
札幌市知的障がい福祉協会
- 5 主 管 一般社団法人 北海道知的障がい福祉協会発達支援部会
- 6 後 援 北海道 札幌市
(予 定) 一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会 一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会
- 7 日 時 平成29年11月7日(火)・8日(水)
- 8 会 場 京王プラザホテル札幌
〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1
TEL (011) 271-0111
- 9 参 加 者
 - 児童発達支援(入所・通所)に携わる施設・事業所の長及び支援スタッフ
 - 障害児相談支援、相談業務に携わる関係者
 - 保育、幼児教育、特別支援教育を含む関係機関の方
 - その他、発達支援及び家族支援に関心がある方
- 10 参加人数 350名

11日 程

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 12:00 | 13:00 | 13:20 | 13:30 | 14:30 | 14:40 | 15:50 | 16:00 | 17:30 | 18:30 | |
| 1日目 11月7日 (火) | 受付 | 開会式 | 休憩 | 行政説明 | 休憩 | 記念講演 | 休憩 | 講演 | 休憩 | 意見交換会 | |
| | 8:30 | 9:00 | | | | | | | | | 12:00 |
| 2日目 11月8日 (水) | 受付 | 分科会 | | | | | | | | | |

◆1日目〈11月7日(火)〉

- 12:00～ 受付
- 13:00～13:20 開会式
- 13:30～14:30 行政説明 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課
障害児・発達障害者支援室(併)地域生活支援推進室
室長 高鹿 秀明 氏(予定)
- 14:40～15:50 記念講演 「子どもと家庭にやさしい子育て支援
～フィンランドネウボラから学び障害児支援を考える～」
元慶應義塾大学医学部小児科医長 渡辺 久子 氏
- 16:00～17:30 講演 「関りの困難な子どもへの支援の実際
～幼児期・児童期・思春期・自立を見通して～」
児童心理治療施設「あゆみの丘」副施設長 堀 健一 氏
- 18:30～ 意見交換会

◆2日目〈11月8日(水)〉

- 8:30 受付
- 9:00～12:00 分科会(分科会ごとの閉会となります)

【第1分科会 障害児入所支援】

3年後の方向性を見据えつつ、障害児入所支援の更なる未来を考える。

講義

「障害児入所支援の質の向上を検証するための研究報告」

心身障害児総合医療療育センター 外来療育部長 米山 明 氏

シンポジウム

テーマ：障害児入所の未来を語ろうーこの子らを世の光にー

シンポジスト①：向陽学園(大阪) 施設長 安城 一郎 氏

シンポジスト②：ひまわり学園(北海道) 園長 湯浅 民子 氏

シンポジスト③：あさひが丘学園(鹿児島) 統括施設長 水流 純大 氏

シンポジスト④：こどもライフサポートセンターはーと(三重) 施設長 阿部 晋一 氏

コーディネーター：ノビロ学園(北海道) 園長 遠藤 光博 氏

【第2分科会 児童発達支援センター・児童発達支援事業・放課後等デイサービスの支援】

近年、多様な事業主体が参入し発達支援の質が問われるなか、厚生労働省より「児童発達支援ガイドライン」が示された。幼児期から学童・思春期、自立に向けて切れ目のない支援を行い、障がいのある子どもの最善の利益を保障するため質の高い支援とは何か、地域の事例を通して検討する。

発表者①：「児童発達支援センターにおける家族支援」

ひよこ園（愛媛）

施設長 越智 晴彦 氏

発表者②：「帯広あおぞらにおける発達支援の実践」

帯広あおぞら（北海道）

保育士 山田 夕紀 氏

発表者③：「放課後等デイサービスの取り組み－自立にむけて」

児童デイサービスのび・のび（北海道）

所 長 古川 孝士 氏

発表者④：「児童発達支援センター（主に難聴）における聴覚障害児への支援の実践」

オリブ園（秋田）

園 長 佐々木明美 氏

コーディネーター：仔鹿園（奈良）

園 長 岡本とも子 氏

【第3分科会 地域との連携・保育所等訪問支援事業】

障がいのある子どもの健やかな育成に向けた、地域の中核施設としての関係機関との連携や切れ目ない支援について、またインクルージョン推進のための取り組みや課題を検討する。

発表者①：「保育所等訪問支援事業の取り組み」

つくしんぼ学級（北海道）

園 長 金沢 京子 氏

発表者②：「札幌市における児童発達支援センターの中核的役割の実践」

かしわ学園（北海道）

園 長 田原由美子 氏

発表者③：「自立支援協議会子ども部会・子ども発達支援室の取り組み」

恵光学園（富山）

園 長 橋本 伸子 氏

コーディネーター：すぎな愛育園（東京）

施設長 福元 與 氏

【第4分科会 障害児相談支援】

子ども達がより豊かな生活を送るための相談支援のあり方について、計画相談の課題、貧困や虐待された子どもへの対応、医療的ケア児の病院から地域生活への支援について検討する。

発表者①：「計画相談の課題と展望」

しおん相談支援センター（奈良）

相談支援専門員 豊田 裕美 氏

発表者②：「子どもの意思決定支援」

日本知的障害者福祉協会

常務理事 太田 和男 氏

発表者③：「貧困・虐待の疑いのある子どもへの支援」

むぎのこ児童発達支援センター（北海道）

地域支援課長 鈴木 久也 氏

発表者④：「医療的ケア児の地域生活への退院支援」

北九州市立総合療育センター

地域支援室長 横田 信也 氏

コーディネーター：柏学園（広島）

理事長 米川 晃 氏

12 参加費等について

- (1) 大会参加費 12,000円
- (2) 意見交換会費 8,000円
- (3) 宿泊費 別紙申し込み参照

13 申し込みについて

- (1) 参加希望者は、別添参加申込書に必要事項を記入の上、10月2日(月)までにFAXまたは郵送にて、(株)近畿日本ツーリスト北海道札幌法人旅行支店宛まで、お申込をお願いします。
- (2) 分科会は、会場の都合により希望通りの分科会とならない場合がありますので、必ず第2希望までご記入下さい。
- (3) 参加申込者には、近畿日本ツーリストより参加券を発行します。大会当日に資料と引換えしますので、当日ご持参下さい。
- (4) 申し込み後の参加費の返金は一切行いませんが、大会終了後に資料を送付させていただきますので、予めご了承下さい。

14 大会に関する問い合わせ先

〔大会実行委員長〕

日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会

部会長 北川 聡子 (むぎのご児童発達支援センター)

〔大会事務局〕

北海道知的障がい福祉協会 担当：藪・東海林

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階

TEL 011-271-0228 FAX 011-271-4202

E-Mail dochifukukyo@h-aid.or.jp

〔参加・宿泊などの問い合わせ先〕

(株)近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店 担当：大桃・森

〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西2丁目2-1 日通札幌ビル6階

TEL 011-251-0011 FAX 011-251-3630

E-Mail s-convention-1@or.knt-h.co.jp